

～議員県外研修～ 先進地を訪ねて！

令和4年7月6日～同8日、コロナで2年間延びのびとなっていた県外研修を行いました。
大分県佐伯市の「スポーツツーリズム」、宮崎県綾町の「スポーツを推進するまちづくり」、
鹿児島県鹿屋市の「行政に頼らない地域づくり」の視察・研修を。
また、鹿児島県南九州市知覧町郡の知覧特攻平和会館にて、平和学習を行いました。

スポーツツーリズムの取り組み！

観光素材の発掘と磨き上げを目的とした「さいきツーリズム戦略」で、5つのツーリズムを推進している大分県佐伯市と、スポーツ合宿のメッカの宮崎県にて、平成当初からスポーツを推進している綾町で取り組み状況の説明を受けました。

【産業建設厚生常任委員会 委員長 矢野依伸】

大分県佐伯市にて

さいき ツーリズム戦略

- ◆ 佐伯人と文化に触れる
- ◆ スローツーリズム
- ◆ 食を味わう
- ◆ フードツーリズム
- ◆ 自然を感じる
- ◆ エコツーリズム
- ◆ 産業を観る
- ◆ なりわいツーリズム
- ◆ 施設を活かす
- ◆ 文化・スポーツ ツーリズム

◆「施設を活かす」文化・合宿を積極的に推進

総合運動公園に、野球場、陸上競技場、屋内運動広場や総合体育など12施設を整備し、過去4年間の年平均利用者は延べ約23万5千人が利用。令和2年10月には、806席を要する複合文化交流施設「さいき城山桜ホール」が開館し、音楽や演劇などの合宿ができる環境も整う。

佐伯中央病院 スタジアム



野球場へのネーミングライツ・パートナーの一例

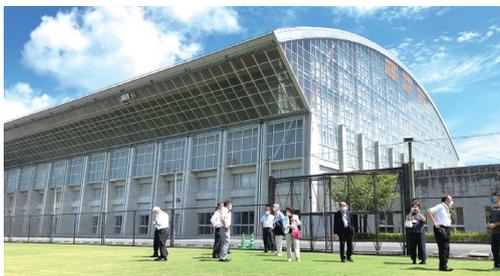
◆ネーミングライツ・パートナー（施設等の名称に企業名を付ける）

- ・野球場など4施設に3年間930万円で医療法人名を。
- ・野球場外野フェンスに1区画（2m×10m）年6万円で16社の企業広告で年96万円。

なお、野球場は両翼98m、センター111.2m、1万5千人観客収容。

宮崎県綾町にて

◆一流の施設に一流の選手を招いて一流の人材が育つ町を目指す！



綾てるはドーム（80m×60m）

一流選手がキャンプ・合宿する施設として、平成4年に全天候型一周400m陸上トラックを整備。最初は旭化成陸上部を誘致し、春・秋年2回の合宿からスタート。現在では九州管内のトヨタ自動車など実業団陸上部が合宿するようになった。以後、サッカー場、野球場、テニスコートなどを順次整備。

平成17年には、綾産材を使用した80m×60mの国内最大級のアリーナ「綾てるはドーム」を15億円で整備。

◆スポーツを推進するまちづくり

子どもたちが、トップアスリートのプレーなどを身近で観たり、アスリートから直接、練習や心構え、礼儀などを学べる各種スポーツ教室などを通じてスポーツも含めた一流の人材が育つ町を目指す。



綾てるはドームに隣接のサッカー場にて